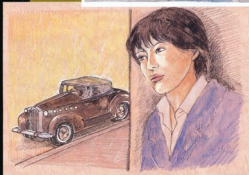


四国新聞連載 菊池寛原作

『貞操問答』挿絵原画展

画・にしざわさとこ

平成十六年七月二十一日(水)～八月一日(日)
町立塩江美術館／企画展示室&ホール



開館時間 午前9:00～午後5:00迄
(但し、入館は午後4:30迄)

入館料 大人300円・高大生150円・小中生80円
(常設展料金含む)
(団体は、20名以上2割引)

休館日 月曜日

主催 塩江美術館
後援 四国新聞社・西日本放送・NHK高松放送局
協力 菊池寛記念館

■町立塩江美術館■

〒761-1611
高松市東三丁目1番地(塩江小学校横)上002番地
TEL (087)893-1800
FAX (087)893-1833

※受付時間 午前9:00～午後5:00迄
※入館料は、大人300円、小中生80円、高大生150円
※団体は、20名以上2割引





ごあいさつ

地元紙『四国新聞』に、平成16年1月から同年7月まで連載されて好評でした、菊池寛の小説『貞操問答』の挿絵原画展を開催者の協力のもとこのたび開催する運びとなりました。

今回の展覧会では、菊池寛の小説を視覚化し、読者を時代にタイムスリップさせて、小説のもっとおもしろさを見事に表現した挿絵作品を紹介いたします。この挿絵の原作者であるにしざわとこさんは、2年前、当美術館で初の個展を開催いたしました。以来、県内外で活躍されて、現在もっとも注目されている日本画家のひとつであります。今回このような形で協力いただき作品を紹介させていただけることに感謝申し上げます。

この機会に是非、挿絵の魅力と文豪菊池寛の作品のすばらしさを堪能いただければ幸いです。

主催者

四国新聞連載 菊池 寛原作

『貞操問答』挿絵原画展(第1話～第136話を紹介)

平成16年7月21日(水)～8月1日(日) 町立塩江美術館/企画展示室&ホール



菊池寛プロフィール

明治21年12月28日、高松市に生まれる。明治33年第一高等学校に入學するも友人の急死事件に巻き込まれ、卒業目前で退学。大正2年、京都府立大学文学部に入學。文芸同人誌第三、第四「新思潮」に参加する。「無名作家の日記」「思慕の行状記」を発表して文壇にデビュー。昭和39年に李国英(李木青)を創設。昭和43年3月6日、肺心病にて死去。主な戯作、小説に『文壇病』『思慕の行状記』『藤十郎の恋』『貞婦夫人』。

提供: 菊池寛記念館

―連載を終えて―

挿絵原作者 西澤 智子

郷土の生んだ菊池寛先生の作品の挿絵を描かせて頂き、同郷の作家として大変光栄に思います。新聞連載小説の挿絵を描くのは初めてのことで、どのように表現したらよいのか戸惑いました。作品を熟読すると、登場人物の設定の巧妙さ、また人間同士の感情の絡み合いから情景が表現されていて何度読んでも面白く、改めて菊池寛の偉大さを実感しました。手探りながら描き始めましたが、無事196回の連載を完成させることができホッとしています。菊池寛の多くの作品が、これからも人々に愛読されることを願っています。



―菊池寛の新聞小説―

菊池寛記念館館長 井下 正三

二年はど前、ブームとなった菊池寛の『貞婦夫人』は大正9年に連載されたものである。当時、新聞小説の革命といわれ、今以上のブームとなった。菊池が新聞小説を書くことになったのは、芥川龍之介とともに大阪毎日の落田龍平に誘われて社友になってからである。この『貞婦夫人』の成功がきっかけで、菊池は数多くの新聞小説を書いている。「火華」「陸の人魚」「第二の彼方」「結婚二重奏」等々。

『貞操問答』は大阪毎日・東京日日に昭和9年7月22日から、翌年の2月4日まで連載されている。挿画は小林秀恒である。

当時の厳しい社会情勢の中で、女性の自立と貞操をテーマにした完成度の高い新聞小説で、今読んで面白い。この度、四国新聞に長期連載され、また、挿画を地元の新進気鋭の画家にしざわとこ氏が担当されたことは、大いに意義がある。毎日、長年にわたって挿画を、それも、当時の風俗を考えながら描くことは、大変な苦勞があったと思う。私にとってもこの連載小説の挿画に大いに期待をしていた。そして、にしざわ氏はその期待に見事に応えてくれた。



寛の最後の挿絵

『貞操問答』挿絵原画作者

西澤 智子展 ～日本画と挿絵～



平成16年8月10日(火)～8月15日(日)

会場:高松市市民ギャラリー

開館時間:午前9:30～午後7:00(火曜・金曜)/午後9:30～午後5:00(土・日曜)

西澤智子さんの日本画作品と四国新聞連載『貞操問答』の原画(第137話～第196話)や文藝「もず」の表紙絵等を紹介。

入場料:無料

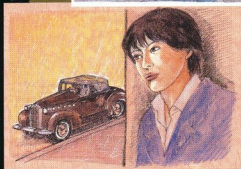
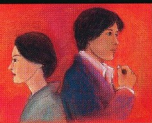
休館日:期間中無休

四国新聞連載 菊池寛原作

『貞操問答』挿絵原画展

画・にしざわさとこ

平成十六年七月二十一日(水)～八月一日(日)
町立塩江美術館／企画展示室&ホール



開館時間 午前9:00～午後5:00迄
(但し、入館は午後4:30迄)

入館料 大人300円・高大生150円・
小中生80円
(常設展料金含む)
(団体は、20名以上2割引)

休館日 月曜日

主催
町立塩江美術館

後援
四国新聞社・西日本放送・NHK高松放送局

協力
菊池寛記念館